

こども園における自己評価

八尾市立志紀おおぞらこども園

4:十分達成している 3:ほぼ達成している 2:検討を要する 1:改善を要する

項目	内容	評価	備考欄
教育・保育目標について	・目標の具体化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか	4	・園の教育保育目標を柱にして、全職員がその研修テーマに沿った保育実践を積み重ねている。また、学期ごとに評価反省を行い、次に生かすようにしている。
	・目標は、各施設や地域の特徴を生かしているか	4	
	・目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか	4	
	・目標は、前年度の反省を活かしながら全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか	4	
教育・保育内容について	・指導計画は、教育保育計画に基づき作成しているか	4	・園目標を念頭に置き、月のねらい、週のねらい、日のねらいをたて、PDCAサイクルを回している。 ・職員一人ひとりが、日々の保育を明日の保育に反映しようと努めている。 ・一人ひとりの子どもたちを大切にしたい保育実践に努め、子どもたちのあるがままの姿を受けとめ、子どもたちの人権を尊重した保育実践に努めている。
	・毎月の指導計画は、乳幼児の実態に即して作成しているか	4	
	・月ごとに指導計画の評価・見直しをし、その結果を指導計画に反映させているか	4	
	・1日の流れ（ディリープログラム等）は、前日の評価をもとに日々改善に努めているか	4	
	・行事のねらいに沿った計画を立て、適切に実施しているか	4	
	・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく援助・支援を適切に行っているか	4	
	・自主性や主体性を重んじて生活習慣が身につくようにしているか	4	
	・子どもの姿を見取り、興味関心に応じた教育・保育を行っているか	4	
	・子どもの発達や成長につながるよう環境の構成や援助の工夫をしているか	4	
	・同僚性を発揮し、保育のねらいや育てたい力を話し合い実践しているか	4	
	・素材・用具を適切に活用しているか	4	
	・保育サポートのための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮しているか	4	
	・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか	4	

項目	内容	評価	備考欄
健康・安全について	・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか	4	・栄養士や調理員と一緒に食育活動に取り組み、子どもたちの健やかな成長とともに考える取り組みを進めている。 ・毎月計画的に避難訓練や交通安全指導等を実施し、子どもたちの安全安心につながるようにしている。また、子どもたち自身にも意識して行動できるように努めている。
	・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか	4	
	・年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策等）を講じているか	4	
	・健康・安全な生活に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいるか また家庭への啓発を行っているか	4	
	・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか	4	
	・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	4	
職員の 資質向上	・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保しているか	4	・園内外の研究会や研修会に積極的に参加するように努めている。引き続き、すべての職員が学ぶ姿勢をもち、保育の資質向上に向け、自己研鑽に励んでいきたい。
	・研究主題は、教育・保育目標の具現化につながるものであるか	4	
	・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか	4	
	・各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	4	
職員運営 管理について	・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか	4	・会議の効率化に向けて、あらかじめ時程を決めたり、内容を精査したりして、時間短縮に努めるようにしている。 ・公務員としての職責を果たすように、普段から意識をもって行動するようにしている。
	・職員を適材適所に配置し、係や仕事の分担が能率的に行える組織になっているか	4	
	・各種会議や打合せを適切かつ効率的に進めているか	3	
	・職員は公務員としての責務や職場での立場を理解し、協力を惜しむことなく施設の運営にかかわっているか	4	
	・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか	4	
守秘義務 の遵守	・乳幼児や保護者に関する個人情報に適切に取り扱っているか	4	・個人情報の取り扱いについては、問題なく適切に取り扱いしている。
	・公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	4	
	・各表簿は、適切に作成、処理しているか	4	

項目		内容	評価	備考欄
開かれたこども園づくり	施設・地域との交流や連携	・他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか	4	・地域にある学校やコミュニティーセンター、図書館などの公共施設並びに地域の方とともに子育てするという意識をもち計画的に交流を進めている。
		・地域の様々な人と触れ合う中で、乳幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか	4	
		・担当者同士が、事前打ち合わせや活動の振り返りを行い、互惠性のある交流になるように工夫しているか。	4	
		・合同研修や授業・保育の見学を通して互いの教育・保育に対して理解を深めているか	4	
		・乳幼児の興味や関心に基づいて地域の施設等を利用し、保育に活かしてしているか	4	
		・地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか	3	
		・子育て支援機関と情報共有しながら、連携をとっているか	4	
	子育て支援	・施設を開放し、地域の親子が遊べる場や機会の提供を行なっているか	4	・地域の子育て支援として、地域交流(ひろば)や園庭開放など、子育てに優しい園づくりに取り組んでいる。
		・職員による「育児に係る子育て相談」は充実しているか	4	
		・医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか	4	
		・一時預かり保育の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか	4	
	情報の発信	・園だよりやクラスだより、ホームページ等で教育・保育内容を発信し、理解をしてもらうよう努めているか	4	・ホームページを積極的に活用し、保護者や地域の方に園の教育・保育を理解していただけるように努めている。
		・地域の連絡会等でこども園の取り組みを発信するとともに、地域施設の事業について知り、教育・保育の充実に役立てているか	4	
	外部評価	・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか	4	・保護者アンケートを園運営に生かし第三者委員を窓口に開かれた園運営に取り組んでいる。
		・地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	4	
施設・設備		・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行っているか	4	・毎月月初めに、安全点検を行い、施設の安全確保に努めている。また、掲示板を有効活用し、保護者に適切な時期に適切な情報を提供している。
		・遊具や用具等を、活用しやすいように整理、保管しているか	4	
		・災害や不審者等に対応する整備を行っているか	4	
		・掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか	4	
経理出納		・各種会計を適正かつ適切に処理しているか	4	・適切に対応している。

成果

- 職員研修の時間を利用し、職員向けの人権学習会を実施した。『人権擁護のチェックシート』を活用し、職員一人ひとりが自分の保育を振り返りながら項目ごとにチェックを行い、子どもの人権を大切にしたい保育につながるようにした。普段の行動が、子どもたちの人権を傷つけてしまわないように保育を見直すきっかけになった。
- 月案を立てる際に、担任と主幹がカリキュラムについて話し合う『カリ前会議』を行い、子どもたちの実態にそった具体的な指導計画をたてるようにした。話し合いをもつことで、月のねらいが明確になり学年の保育者が思いを共有して保育することができた。
- ブラックボックスと呼ばれている保育が見えるように保育の見える化に取り組んだ。園のホームページに園だよりや園長だより、子どもたちの活動の様子の写真、園歌などの掲載し、保護者や地域の方との信頼関係づくりに努めた。
- 今年度から『おおぞらっこニュース』を発行し、子どもたちの園での様子や担任が保育で大切にしている視点、行事の様子、子育て支援情報等を積極的に発信するようにした。保護者アンケートからも概ね良好な感想をいただき、成果を感じた。
- 小学校栄養士に、小学校の給食についての話を聞いたり、同じ小学校区にある私立保育園(5歳児)と小学1年生とが、小学校の校庭で遊ぶ交流体験を行い、就学への期待と安心につながるようにした。
- 子どもたちと一緒に『志紀おおぞらこども園のうた』を作詞し、それにメロディーをつけてこども園のうたをつくった。その歌を幸せそうに歌う子どもたちの姿がある。
- 安全面に配慮し8月に『おさんぽマニュアル』をリニューアルし、いつでも確認できるように各クラスで保管するようにした。

課題

- 園内外の研修会や研究会に参加できるように体制を整え、積極的に情報発信して参加を促していたが、当日のシフト調整がとれず希望していたが参加できないこともあった。
- 子どもたちへのかかわりについて『人権擁護のチェックシート』を活用して、学び合う機会をつくるようにしたが、全職員に浸透するまでに時間がかかった。
- 保育者が、保護者一人ひとりと丁寧に向き合う時間の確保が難しかった。

改善点

- ライフワークバランスが保てるように働きかけるとともに、働き方改革に取り組んでいきたい。
- 一人ひとりの職員が防災意識と防犯意識を高め、いざという時に対応できる能力を身につけていきたい。

